

外国人社員の活躍・定着につながる
外国人雇用企業のための

異文化間コミュニケーション講座

主催：(公財)横浜市国際交流協会

■背景

日本における総人口および労働者人口の減少が見込まれる中、企業にとっても「人材確保」は大きな課題であり、外国人労働者の受入れニーズは年々高まりつつあります。一方で、2019年度に実施した「横浜市域における地域日本語教育の総合的推進に係る実態調査」によると外国人とのコミュニケーションや受け入れ体制整備などに不安を感じている企業もあるようです。

■趣旨

企業において文化・習慣やコミュニケーション方法の違いから生まれるトラブルを減らし、共に活躍できる環境づくりのためには、日本人、外国人の相互理解が必要です。

お互いが歩み寄り、円滑なコミュニケーションを図るための第一歩として、企業経営者・従業員(日本人)を対象とした講座を開催しました。

■講座のねらい

- ・外国人社員が活躍している企業の取り組み事例や外国人社員当事者の声を知る
- ・外国人社員受け入れのための環境整備について考える。
- ・外国人社員と日本人社員の円滑なコミュニケーションのポイントを知る
- ・外国人社員により伝わりやすく業務効率改善にもつながる「やさしい日本語」の使い方をワークショップで体験する

参加者より

- ・受け入れ企業のきめ細やかな取り組みが具体的に紹介されていて、参考になった。
- ・外国人社員が描くキャリアプランにしっかり寄り添う企業の姿勢に感動した。
- ・すべてを伝えるよりも、シンプルにすることでより伝わりやすくなる「やさしい日本語」の考え方がとても印象的だった。



講座名

外国人雇用企業のための
「異文化間コミュニケーション講座」

講師

【第1回】(株)インカレックス
取締役・代表講師 AYA(佐藤綾子)氏
【第2回】(一財)日本国際協力センター
多文化共生事業部部長 長山 和夫 氏
主任日本語講師 五十嵐 洋美 氏

登壇者

【第1回】向洋電機土木株式会社
CHO・広報部部長 横澤 昌典 氏
ゲン ヴァン ドン 氏
ゲン マイン フン 氏

日時

【第1回】2024年2月 1日(木) 18:30~20:00
【第2回】2024年2月 15日(木) 18:30~20:00

場所

オンライン(Zoom)

対象

横浜市内に事業所があり、現在外国人社員を雇用している企業の方、外国人雇用を検討している企業の方

参加者数

【第1回】9社 9名 【第2回】6社 6名
情報・通信、サービス業など

よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

外国人雇用企業のための「異文化間コミュニケーション講座」

第1回

外国人雇用企業に聞く

外国人社員受け入れのために取り組んだこと

市内の外国人雇用企業より、入社前～入社後に行った、外国人社員受け入れのための取組についてお話をいただきました。外国人社員を受け入れるにあたり、業務に関する研修のほか、日本語学習や買い物、公共交通機関の使い方などの生活サポートもきめ細やかに実施したそうです。

また、ベトナム人社員2人の話も聞きました。「役所などの難しい書類は会社が用意してくれた」ことや、何か分からないことがある時は、質問をすると仕事のこと

でも生活のことでも、詳しく、丁寧に話してくれることが大きな助けになったとの話がありました。

その後講師からは、外国人社員と共に働くためには、コミュニケーションや異文化理解の歩み寄りが必要であるとの話がありました。また、さらに活躍と定着のために「やさしい日本語」「日本人・外国人双方への研修」「地域との連携」が大切であるとのことです。

外国人社員を雇用する企業向けの相談窓口や支援ツール等も紹介いただきました。

<参加者より>

●感想

- ・外国人社員の方々の期待とそれにこたえようと準備された企業の取り組みが印象的だった。
- ・必要な情報がよくまとまった充実した資料をいただけてありがたい。
- 外国人社員受け入れにあたって心配なことや課題
習慣の違い / 言葉の壁 / 健康管理 / 住居の手配 / 生活面でのケア

第2回

外国人社員とのコミュニケーションで大切なことを知る

異文化間コミュニケーションと、

外国人社員に伝わる「やさしい日本語」

前半では、講師より日本の職場文化の特徴や、外国人社員の戸惑いの事例を紹介した後「日本独特・自社独自の習慣は事前に伝えておく」「謝罪や時間の価値観は国によって異なる」「生活の安定が高い就労意欲につながる」など、外国人社員と働く際のポイントについてお話をしました。

後半では外国人社員が理解しやすい「やさしい日本語」について紹介しました。「ポイントを絞る」「短く」「簡単に」などの書き換えルールに沿って「やさしい日本語」に言い換えるグループワークを行いました。「時間厳守」の言い換えでは、どのような言葉が分かりやすいか、そもそも何分前に来ることを期待しているのかなど、日本の職場慣習についても意見交換していきました。

「やさしい日本語」言い換えワーク

「明日、時間厳守で集合ね!」

(言い換え例)

- ・明日、〇時に来てください。
遅れないでください。
- ・明日、〇時〇分です。
(場所)に来てください。

<参加者より>

- ・曖昧な言葉を使わないというのが、すごく納得できた。
- ・ワークショップでは、他の人の意見を聞いて、自分になり発想に学びがあった。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!